

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	保健・体育	
科目基礎情報							
科目番号	0002		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	物質工学科 (生物工学コース)		対象学年		4		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	保健体育概論						
担当教員	中出 明人,桑原 伸弘						
到達目標							
15歳～20歳の年代の身体的、精神的な特徴を理解し、各種の運動の実践を通じて、自己の身体への認識を深め、健康・体力・運動能力の保持、増進を図る。 ルールや規則を守り、安全に留意し運動を通じて健康な人間関係を保つ態度を養う。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目 1	各授業に出席して積極的に運動等の課題に取り組み、健康・体力・運動能力の増進を図ることができる		各授業に出席して運動等の課題に取り組み、健康・体力・運動能力の増進を図ることができる		各授業に出席して運動等の課題に取り組み、健康・体力・運動能力の増進を図ることができない		
評価項目 2	各競技の特性や特徴を十分に理解し、基礎動作を高いレベルで実践できる		各競技の特性や特徴を理解し、基礎動作を実践できる		各競技の特性や特徴の理解が不十分で、基礎動作も実践できない		
評価項目 3	授業内容を十分に理解し、小テスト等で問われた事柄の大半に回答できる (8割以上の正解率が目安)		授業内容を理解し、小テスト等で問われた事柄の多くに回答できる (6割程度の正解率が目安)		授業内容の理解が不十分で、小テスト等で問われた事柄に十分に回答できない (3割以下の正解率が目安)		
評価項目 4	各種運動のルールや授業を進める上での規則を十分に理解し、授業運営に積極的に参加できる		各種運動のルールや授業を進める上での規則を理解し、授業運営に参加できる		各種運動のルールや授業を進める上での規則の理解が不十分で、授業運営に参加できない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	基礎体力作りを目的とした運動や、個人技能・集団技能・対人技能といったいろいろな種目の基本動作を中心とした運動。健康と運動の関係を理解し、卒業後も生涯スポーツとして運動を継続できることを目指す。						
授業の進め方・方法	通年を通して授業は週1回開講。AとBのふたつの種目を交互に隔週で行う場合と、共通 (スポーツテスト、選択種目) で行う場合がある。 授業内容は全学年までに授業があった種目についてはゲーム中心で、初出の書目については基本練習から始めて最終的にゲームを行う。また、種目によって実技テストを課すことがある。						
注意点	天候等の理由により屋外種目実施が困難な場合は雨天種目を行う。これに伴い実施種目が前後することがある。 体操服、体育館実施種目は体育館シューズ、屋外実施種目は運動靴を着用すること。 見学する場合は事前に見学カードに必要事項を記入し、担当教員へ提出すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	【共通】スポーツテスト①		協力して正しく測定し、自己の能力を把握する		
		2週	【共通】スポーツテスト②		協力して正しく測定し、自己の能力を把握する		
		3週	【A】ゴルフ①		クラブの握り方を知り、ショートスイングができる		
		4週	【B】ソフトテニス①		基礎練習後、試合ができる		
		5週	【A】ゴルフ②		アプローチショット、フルショットができる		
		6週	【B】ソフトテニス②		基礎練習後、試合ができる		
		7週	【A】ゴルフ③		ピンを狙ったショットができ、コース練習ができる		
		8週	【B】ソフトテニス③		基礎練習後、試合ができる		
	2ndQ	9週	【A】ゴルフ④		実技試験を兼ねてコースをまわれる		
		10週	【B】ソフトテニス④		基礎練習後、試合ができる		
		11週	【A】ソフトボール①		基礎練習後、チームで協力して試合ができる		
		12週	【B】硬式テニス①		ラケットの握りを理解し、ストローク、サーブ、ボレー等の基礎技術を習得する		
		13週	【A】ソフトボール②		基礎練習後、チームで協力して試合ができる		
		14週	【B】硬式テニス②		ストローク、サーブ、ボレー等の基礎技術を習得する		
		15週	【A】ソフトボール③		基礎練習後、チームで協力して試合ができる		
		16週					
後期	3rdQ	1週	【B】硬式テニス③		基礎技術を身につけ、ゲームができる		
		2週	【A】ソフトボール④		基礎練習後、チームで協力して試合ができる		
		3週	【B】硬式テニス④		基礎技術を身につけ、ゲームができる		
		4週	【共通】選択① バスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球から1種目を選択		各種目、学生自らが内容を立案し、全員が楽しめるような競技運営ができる		
		5週	【共通】選択① バスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球から1種目を選択		各種目、学生自らが内容を立案し、全員が楽しめるような競技運営ができる		
		6週	【共通】選択① バスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球から1種目を選択		各種目、学生自らが内容を立案し、全員が楽しめるような競技運営ができる		

		7週	【共通】選択① バスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球から1種目を選択	各種目、学生自らが内容を立案し、全員が楽しめるような競技運営ができる
		8週	【共通】雨種目バレーボール①	全員が楽しめるようなゲームを行える
	4thQ	9週	【共通】雨種目バドミントン①	全員が楽しめるようなゲームを行える
		10週	【共通】雨種目バレーボール②	全員が楽しめるようなゲームを行える
		11週	【共通】雨種目バドミントン②	全員が楽しめるようなゲームを行える
		12週	【共通】雨種目バレーボール③	全員が楽しめるようなゲームを行える
		13週	【共通】雨種目バドミントン③	全員が楽しめるようなゲームを行える
		14週	【共通】雨種目バレーボール④	全員が楽しめるようなゲームを行える
		15週	【共通】雨種目バドミントン④	全員が楽しめるようなゲームを行える
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合						
	参加状況		技術習得度		学習意欲および態度	合計
総合評価割合		70		20	10	100
配点		70		20	10	100